



札幌市サッカースポーツ少年団 室内サッカー大会 〈6年の部〉

優勝 フォーザ SC
準優勝 西野第二
第3位 西園
第3位 札幌ジュニア

各区で激戦をものにした代表32チームが、優勝を目指し、熱戦を繰り広げました。6年生にとっては札幌市少年団連盟の最後の大会。頂点に立ったチームはフォーザ SC でした。



決勝		
2月11日(木) 八軒北小学校体育館		
フォーザ		西野第二
5	1-0	2
	2-1	
	2-1	

第一ピリオドの最初は、両チーム落ち着いて入った。西野第二は中一外一中と、うまくサイドを使おうとしていた。対してフォーザは思い切りのいい突破とシュートを試みる。前半3分。早速均衡が破れた。フォーザ16番の左サイドからのキックインを10番が受け、そのまま右に流れながらシュート！見事に決まって先制点を挙げたのは、フォーザだった。その2分後に、西野第二18番の約20mもあるフリーキックがあったが、惜しくもゴール上にそれた。1

きずな

分後にも、西野第二18番がシュートするが、これはフォーザのキーパーがナイスセーブ！事なきを得る。



1-0のフォーザリードで始まった第二ピリオド。追いつきたい西野第二は1分過ぎに混戦から何度か打ったシュートのこぼれ球を最後に左から決め、1-1に追いつく。3分にフォーザの反撃。13番がゴールに背を向けボールを受ける。そのまま反転し、右足のシュート！素晴らしいシュートが決まり、再びリードする。その後、ややパスに頼っていたフォーザだったが、6分過ぎ、ここで8番が積極的なプレーに打って出る。自陣キーパー前でボールを奪うと、そのまま20m以上を単独ドリブル！シュートを決めて、貴重な追加点となった。



第三ピリオド、2点リードされ、後がない西野第二。なんとかまずは1点返したいところだが、ファーストチャ

ンスはフォーザ。8番がシュートを打つが、これはキーパーがナイスセーブ。フォーザは13番のキープ力が高く、西野第二のファールを誘う。2分、フォーザ6番の正面からのシュートが決まり、4-1とリードを広げる。その後、西野第二は右サイドのドリブルからシュートを試みるが、フォーザの厚い守りに阻まれ、なかなか点を奪うことができない。6分、西野第二は9番が右コーナー付近で粘り、ボールを奪取。シュートを打つと、これが入る。4-2となり、

西野第二はまだ諦めていない。だが、直後にフォーザは右サイドからのボールに13番がスライディングシュート！再びリードを広げる。

互いの技術と闘志を見せた好試合は、5-2でフォーザが勝ち、今年度の優勝が決まった。

準決勝		
2月5日（日） 八軒北小学校体育館		
西園	フォーザ SC	
2	1-1 1-1 0-1	3

第一ピリオドは西園のキックオフで開始。序盤はフォーザが攻勢をかけるが、西園も落ち着いた守りで対応していく。

2分を過ぎて、ゲームが動く。西園の14番から18番へと鮮やかなパスが通る。そのまま18番が右足でゴール左隅へ狙い澄ましたようなシュート！見事に決まり、西園が先制する。しかし、フォーザも負けていない。6分には16番と10番のワンツーで左サイドを抜けていき、最後は6番のダイレクトシュート。鮮やかに決まって1-1の同点とする。



第二ピリオドも激しい攻防が見られた。オープニングシュートは西園のミドルシュート。これは外れる。3分にフォーザの8番がやや右サイドからのミドルシュートが決まり、リードを奪う。しかし、西園も直後に決定的なチャンスが訪れる。ハーフ手前で10番がボールを奪取すると、そのままドリブルで持ち込み、シュート。見事に決めて試合を振り出しに戻す。その後は、フォーザの勝ち越しかと思われたシュートもあったが、結局ノーゴールで終盤へと向かう。

3ピリオドは、まさしく一進一退。どちらもチャンスを作るが得点が入らず。お互いの切り替えが早く、素晴らしい試合となる。5分過ぎ、一瞬の間を突いてフォーザの6番がシュート。これが入って決勝点となる。フォーザが決勝へ駒を進めた。

準決勝		
2月5日（日） 八軒北小学校体育館		
西野第二	札幌ジュニア	
2	0-0 1-0 1-0	0

準決勝第二試合。西野第二のキックオフで試合が始まった。第一ピリオドは、お互い激しい攻撃が見られた。両チーム積極的に仕掛けていくが、鋭い寄せで決定的な機会を許さない。0-0で終わる。

第二ピリオド1分30秒。ついに均衡が崩れる。西野第二9番が正面やや右から決め、1-0。札幌ジュニアはプレッシャーを一段と強くする。13番と17番のパス交換で幾度となくシュートまでもっていく。4分過ぎから約2分間、一度も札幌ジュニアエリアにボールが来ないという、札幌ジュニアの猛攻撃！しかし、西野第二はそれをしのぎきり、1-0で最後のピリオドへと向かう。



第三ピリオド3分、西野第二18番がボールを浮かせてボレーの技ありシュートを打つも、入らず。その直後、西野第二18番のキックインをキーバーが触り、得点が認定され、西野第二が2-0とリードを広げる。その後は、札幌ジュニア7番が再三ドリブルで仕掛けるも、決定機までには至らず。その後も一進一退の攻防が続いた。

両チームの選手、集中して試合に臨んだ好ゲームであったが、最後まで攻めの姿勢を見せた西野第二が見事に決勝進出を決めた。